

竹内陽子のプロフィール

- 1945年 東京に生まれる
- 1965年 東洋英和女学院短期大学英文科卒業
日本火災海上保険(株)入社 5年8ヶ月勤務
- 1971年 米国コロラド・デンバー在住 2年間
(日米の教育、文化の違いを学ぶ)
- 1982年 白井市立南山中学校初代PTA会長
- 1987年 白井町議会議員
- 1993年 文教常任委員長
(ALTや2学期制導入に注力)
千葉政経塾1期生(松下政経塾地域塾)
(国会議員他の講義を受ける)
- 1997年 白井町議会運営委員会委員長
- 2001年 白井市議会副議長
- 2002年 白井市社会福祉協議会理事
(地域福祉問題についての協議を重ねる)
白井市議会市町村合併問題特別委員会委員長
- 2003年 印西地区消防組合議会議長
(危機管理体制強化、推進を主張)
- 2007年 千葉県議会議員選挙(白井区)次点
- 2010年 白井市男女共同参画懇談会 副会長
(推進計画策定に向け、子育て支援、福祉、労働問題等協議)



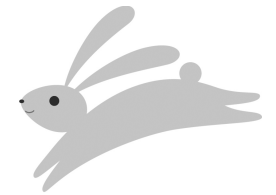
民主党

連絡先

白井市けやき台 2-1-4-603
TEL&FAX 047-492-1563
mail yoko461@iq.main.jp
http://yoko461.main.jp



竹内陽子の



駅頭通信



2011年の卯年は“飛躍”の年とも言われています。今年こそは、世の中ホップ ステップ ジャンプ!と明るい方向に向かってほしいと願わざるを得ません。政治の混迷は、日々の生活の中で疑問、不満がつのる事が多く、リタイヤされた方々の中には、外国へ脱出の方が安心、快適に生活が出来る、と、年々多くなっている実情に複雑な思いです。

一方、大学、高校卒業生の就職率が約70%とはこれもまた深刻な現状です。このような深刻な事態の中で、白井も北総線の高運賃問題がさらに大きく問われています。そして、鉄道利用者の方々からは、利便性まで悪くなったと抗議の声が続出です。これらの声をしっかりと受け止め、4月の地方統一選挙に向かっていきたいと心をあらたにしております。

竹内 陽子

2011.1~2月号

〈討議資料〉

2011年、千葉県議会議員選挙出馬表明

2011年1月11日に私、竹内陽子は県庁で記者会見を行い4月の県議会選挙に白井市区（定数1）から無所属で立候補することを表明しました。翌12日に各新聞社一斉に報道されたこともあり、みなさまから多くのご連絡を頂いております。これからも駅頭通信等でご報告していきます。

??????????

「なぜ、無所属で出馬？」

??????????

みなさまからの問い合わせの一番多かった質問でした。もちろん記者会見でもこの質問に対しはつきりとお答えしてきました。前回の県議選は民主党公認で選挙を戦いましたが、次点の結果に終わりましたが、多くのご支援とみなさまの熱い思いに再度チャレンジを心に決め、この4年間、市民のみなさま、市議会、県議会、国会議員の方々と勉強会、交流をしてきました。刻々変わる国の情勢に、千葉県、白井市がどのように対応していくのだろうか、県、市議会の傍聴もしてきました。もちろん議員の方々と色々な問題を

話し合うこともできました。昨年5月、いよいよ県議選に向けての公認申請をしなければと思ひ、民主党千葉県第13区総支部に書類を提出しました。ところが、8月に入りあらためて公募制度をとったことにより、再度書類を提出しましたが11月に入っても公認を認められませんでした。理由は“北総線の運賃値下げを実現する会”（北実会）で活動しているからとのこと。すなわち、13区代表の北総鉄道、京成電鉄に対する考えと異なっているという訳です。



しかし、北総線の高運賃値下げは、市民の長年の悲願でもありません。昨年、成田スカイアクセスの開業時に高運賃値下げの期待をしたものの、結果は5%弱の値下げと、値下げによる北総電鉄の減収分を市から税金で投入し、さらに白井市民の北総線利用者にとっては利便性も悪くなるという結果は、市民の大きな期待に反する結果でした。北実会はさらなる調査をしているところです。市民の方々の切なる願いに応えて行くため、支援者の方々と協議の結果、今後、皆様の声を反映し

ていくためにも、今迄培った県内外の多くの議員の方々との交流を大切にしていくことが大事であることも踏まえ、党籍はそのまま、選挙は無所属でたたかう決断を致しました。そして、1月11日、県庁で記者会見をした次第です。



県庁での記者会見の様子